



おおの山城大文字まつりに参加する子どもたち 〔中央地子連の活動〕

主 な 記 事

- ・特集 大野城市子ども会育成会連絡協議会との対談……………P2～4
- ・平成27年6月定例会……………P5～7
- ・一般質問（8人）……………P8～12

特集

大野城市子ども会育成会 連絡協議会（市子連）



市議会

大野城市子ども会育成会連絡協議会の役員さんにお話を伺いました。

大野城市の子ども達が、元気でのびのびと

成長してほしいと願っています。



市子連定例会の様子

〈市子連の目的は？〉

各行政区で子ども達と一番接している現場を「単位子ども会（以下「子ども会」）」としています。その子ども会がより良い活動ができるよう、指導者の皆さんに子どもの育成に関する情報を発信しています。また、定期的に指導者研修会を実施しています。

〈市子連の構成はどのようになっていますか？〉

実際に子ども達と接する子ども会があり、

その上に4「コミュニティごと」（東・北・中央・南）に「地子連」（地区子ども会育成会連絡協議会）があります。その地子連の上の組織が私たちの「市子連」になります。

また、「市子連」の上にも組織があります。筑紫地区4市1町の「筑子連」、福岡市の周辺の地区（筑紫、糸島、宗像、粕屋）で構成する「福岡ブロック」があり、その上に「県子連」「全子連」と続いています。子ども会育成会は、全国組織なのです。

子どもの参加資格年齢は、小学校1年生

から18歳までです。中学生や高校生も参加しています。

〈子ども会とは？〉

子ども達に様々な体験をさせ学ばせ、交流させることです。

子ども達には、自主的・自発的な取り組みをさせ、育成者が「促す」「見守る」「任せる」ことによって、子ども達は自身の発想で活動しています。

〈子ども会の活動は?〉

子ども会で特色を出し、春の新入生歓迎会、夏のキャンプ・バスハイク、秋のおおの山城大文字まつり、冬の餅つき大会やクリスマス会などを子ども達が計画をして行っています。また、地区の行事の夏祭りやどんど焼きなどにも積極的に参加しています。

子ども会の活動は、子ども達に自主性を持たせるために、子ども達の中からリーダーを選んで、リーダーを中心に活動計画を立て実行させるようにしています。これが子ども会の基本でありモットーです。

子ども達がいろんな意見を出し合い、一つの目標に向かって行くことが大事だと思います。一つの事を決めるのに長い時間がかかることもあります。指導者はなるべく口は出さずに見守るようになって、子ども達の自主性を育てていきたいと思っています。

〈市子連の役員さんとして楽しんでいます〉

やはり子ども会では、子ども達と一緒に活動(遊び)しているときが一番楽しんでいます。子ども会の良いところは、縦のつながりが築けることです。

学校の中では同級生の横の連携が主ですが、子ども会は縦の連携がより重要になっ



てきます。上級生がリーダーシップを発揮し下級生の面倒を見る。下級生は上級生を模範として、あのお兄ちゃんやお姉ちゃんみたいになりたいと言ってくれている子ども達の姿を見るのが嬉しくです。

また、子ども達が家庭で教えてもらえないことでも、活動に参加することで、色々と体験でき役立っていることがあると思います。

そして、もう10年以上子ども会活動をしていますので、子ども達一人一人の成長過程が目に見えてわかるのが良いですね。子ども会の子も達が少しずつ成長しているのを見ると、自分の子どもと同じように楽しみがあります。

〈子ども会活動に於いて問題点や要望などはありませんか?〉

問題点としては、指導者(育成者)の養成ですね。地区によっては指導者が一年ごとに変わるころがありますので、これからという時に楽しめないままになるのが残念です。せめて2年以上育成者として活動していただけたらと思います。

これから指導者の研修にも更に力を入れていきたいと思っています。

今の子どもたちは学校が終わると、社会体育や塾に習い事など忙しいですね。でも忙しい中でも行ける時間が出れば、いつでも子ども会会の活動に参加してほしいと思います。

〈今後の活動予定をおしえてください〉

10月18日に市子連主催のスポーツ大会を行います。場所は東コミュニティのふれあいホールで、ユニカール大会を行う予定です。たくさんの方々に参加してほしいと思います。

このスポーツ大会は、市内の子どもたちが、スポーツを通じて交流できる場として、今後も実施していきたいと思っていますので皆様のご協力をお願いします。

〈子ども会に入るために、どのようなことをされていますか？〉

毎年、入学説明会などに時間をいただいで、子ども会への勧誘をしています。また、チラシを6000枚程作り、学校を通して全員の子どもの達に配布して参加を募っています。

もし子ども会の入会でわからないことがあれば、市役所の子ども未来課内にある市子連事務局、地元の公民館や指導員の方にお尋ねください。よろしく願います。

〈市民の皆様にはPRはありますか？〉

保護者の方にお願ひですが、子どもが行きたいと言えれば一回でもいいですから、子ども会活動に参加させてください。子どもにとって楽しい出合いがあります。

今後も子ども会育成会をよろしく願ひします。

〈本日は色々なご意見をいただき有り難うございました。今後の議会活動の参考とさせていただきます。これからも未来ある子ども達の為に頑張ってください。〉



夏のキャンプ



クリスマス会

他にも色々なお話を伺うことができました。ご協力ありがとうございました。

6月定例会

平成27年6月定例会を6月1日(月)から
6月19日(金)まで開催
14の案件を審議し、全て可決・承認。
報告が7件。8名の議員が一般質問。

審議結果一覧

平成27年 第3回 6月定例会

議案番号	件名	本会議結果	付託委員会
第48号議案	大野城市税条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致 可決	総務企画委員会
第49号議案	大野城市社会教育委員設置条例の一部を改正する条例の制定について	//	福祉文教委員会
第50号議案	財産の取得について	//	都市環境委員会
第51号議案	財産の取得について	//	//
第52号議案	大野城市教育委員会教育長の任命について	同意	—
第53号議案	大野城市教育委員会委員の任命について	//	—
第54号議案	大野城市教育委員会委員の任命について	//	—
第55号議案	大野城市教育委員会委員の任命について	//	—
第56号議案	筑紫公平委員会委員の選任について	//	—
第57号議案	平成27年度大野城市一般会計補正予算(第2号)について	全会一致 可決	予算委員会
第58号議案	財産の取得について	//	都市環境委員会
第59号議案	大野城市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	//	—
報告第3号	平成26年度大野城市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告	—
報告第4号	平成26年度大野城市水道事業会計予算繰越計算書について	//	—
報告第5号	平成26年度大野城市下水道事業会計予算繰越計算書について	//	—
報告第6号	平成27年度大野城市土地開発公社の予算について	//	—
報告第7号	平成27年度公益財団法人大野城まどかびあの予算について	//	—
報告第8号	平成27年度公益財団法人おおのじょう緑のトラスト協会の予算について	//	—
報告第9号	平成27年度公益財団法人大野城市体育協会の予算について	//	—
	閉会中における所管事務調査等の通知について	承認	—
	議員の派遣について	承認	—

◆ 議会の動き ◆

5月25日
会派代表者会議
議会運営委員会
第117回県南市議会議長会
(柳川市)

29日
第150回福岡県市議会議長会
(糸島市)

6月1日
本会議(初日)
全員協議会
広報委員会
第90回九州市議会議長会定期総会
(長崎市)

3日
本会議(2日目、質疑)
総務企画委員会
福祉文教委員会
都市環境委員会
予算委員会(補正)
議会運営委員会
本会議(3日目、一般質問)
本会議(4日目、一般質問)

9日
議会運営委員会
都市環境委員会
会派代表者会議
全国市議会議長会定期総会
(東京都)

12日
議会運営委員会
本会議(最終日)

15日
議会運営委員会
本会議(最終日)

16日
議会運営委員会
本会議(最終日)

17日
議会運営委員会
本会議(最終日)

19日
議会運営委員会
本会議(最終日)



委員会報告

～主な審査内容～

総務企画委員会

第48号議案

「大野城市税条例の一部を改正する条例の制定について」

Q 「個人住民税における総所得金額等の算定にあつては、所得税において創設された出国時の譲渡所得課税の特例適用は行わないものとする」理由は

A 個人住民税は、1月1日に住所を有する市町村に課税権があるため、1月1日に住所を有しないものに課税されるような今回の案件については今後検討していこうということで、据え置きとなっている。

Q たばこ税の税率引き上げに伴う市税収への影響は

A 現在1000本当たり市たばこ税が2945円である。段階的に4段階で、28年4月1日が2925円、平成29年4月1日が3355円、30年4月1日が4000円、4段階目が平成31年4月1日で5262円になる。そこで増税分を試算すると約260万円の増が見込まれる。



福祉文教委員会

第49号議案

「大野城市社会教育委員設置条例の一部を改正する条例の制定について」

Q 現在の人数は。また、どういう人が委員に選出されているのか

A 15名であり、小学校長会、家庭、PTA、有識者として元教職員、青年団体の指導者などである。今後は、団体等を見直しながら、弾力性を持った運用ができるようにする。

Q 定数は何人ぐらいを予定しているのか

A 10名から12名程度を予定している。



江別市議会視察の様子

17日	千葉県佐倉市
8日	茨城県下妻市
6日	東京都八王子市
3日	栃木県小山市
7月1日	北海道江別市
6月25日	香川県綾歌郡宇多津町
22日	神奈川県鎌倉市
21日	千葉県君津市
5月15日	大阪府交野市

◆ 視察来庁 ◆

都市環境委員会

第50号議案

「財産の取得について」

（コミュニティバスの車両取得）

Q 現行車両の取扱いは

A 現行と同型の車両が運行しているが、生産が終了しているため、その部品取得用として利用する。

Q まどか号のルート見直しの手順は

A 交通環境の変化が見られるとき、市民・コミュニティ・学識経験・バス事業者・福祉団体などから選出された方14名で構成されるバス交通協議会に諮り決める。

第51号議案

「財産の取得について」

（第1種自然環境保護区域内の土地取得）

Q 取得後の活用方法は

A トラスト協会の活動や牛頸須恵器窯跡の整備活用計画などとの連携を検討していく。

Q 今後の購入計画はどのようなものか

A 売却の申し出があった分は、29年までには買い取りが終わる予定。現在、申し出がない場所については、さらに周知していく。

第58号議案

「財産の取得について」

（消防ポンプ自動車の取得）

Q 運転できる免許証の種類は

A 購入車両は、5トン未満のマニュアル車であるため、普通免許となる。

Q 一年間の出勤回数は

A 26年度は火災12回、水害1回、警戒4回、行方不明者捜索1回、訓練17回の計35回。



予算委員会

第57号議案

「平成27年度大野城市一般会計補正予算（第2号）について」

（補正前の額） （6月補正額） （補正後の予算額）
322億5800万円 + 3715万円 = 322億9515万円

Q マイナンバーに関するシステム改修の内容は

A システム改修仕様が国により明確に示されたことから、本市システムの構築を行う。セキュリティー対策については、権限に応じたパスワードを設定するとともに、サーバーでデータを管理し、セキュリティーの向上と高度化を図っていく。

<議員間討議>

マイナンバー社会保障・税番号制度導入に伴うシステム改修について、委員会で討議を行い、制度及びシステムの改修概要、並びに個人情報の漏えいなどに対するセキュリティー対策について調査研究の必要性を確認した。

Q 仮駐車場整備工事について

A 市役所敷地西側の県警大野待機宿舎跡地を仮駐車場として整備する。整備後は、駐車台数約75台、駐輪台数20台程度の仮駐車場となる。

Q まどかびあ事業の補助金の内容は

A 今回交付された助成金は、一般財団法人自治総合センターの地域の芸術環境づくり助成事業の助成金と一般財団法人地域創造の地域の文化、芸術活動助成金である。

議員間討議とは・・・

市政へ民意の反映をはかるため、議会の意思形成をめざして、議員間で議論を行うこと。平成27年4月に施行された大野城市議会基本条例に基づき実施されています。



一般質問 ～これからの大野城を問う～

一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、議員が市に対して質問を行います。
今回の一般質問で皆さんにとって重要な内容はありましたか？

注：★がついている内容を掲載しています。

松田美由紀	<ul style="list-style-type: none"> ★選挙について • 子ども医療費について • 小・中学校空調設備の整備方針について 	清水 純子	<ul style="list-style-type: none"> ★空き家対策について • 障がい児保育について
大塚みどり	<ul style="list-style-type: none"> ★安全・安心で支え合うまちづくりについて 	平井信太郎	<ul style="list-style-type: none"> ★道路側溝蓋掛けについて • 子ども会育成会の活性化について
森 和也	<ul style="list-style-type: none"> ★コミュニティバス運行事業の推進について 	松崎百合子	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもの権利条例制定について ★中学校の給食について • 非婚の母のみなし寡婦控除について • 男女共同参画社会の推進について • 原発事故の避難計画について
松下 真一	<ul style="list-style-type: none"> ★地方自治体が担う社会保障について 		
河村 康之	<ul style="list-style-type: none"> ★大野城市の学校給食「食物アレルギー」対応について • 安全な学校給食を提供する上での、「学校給食業者の選定」について 		

18歳選挙権。 どうする？主権者教育

松田 美由紀



問 期日前投票率や各投票所別・年代別投票率データ公開について

答 期日前投票日毎の投票速報に加え、当日の投票速報、集計後の投票所別、年代別の投票率をホームページで公開する。

問 市内では期日前投票は市役所のみである。ショッピングセンターやコミュニティセンターなど期日前投票所を増設する考えはあるか

答 期日前投票の投票率は増加傾向にあるが、全体の投票率は下がっている。有権者の個人情報、安全確保や費用対効果等から、増設は考えていない。

問 投票所設置基準について

答 区からの要望や有権者数の増加により、待ち時間の発生など投票に不便が生じた投票所は関係区と協議の上、投票所の分割を行っている。

問 未成年者及び若い有権者を対象とした啓発事業について

答 主権者教育の重要性は市として

も認識している。国や県と歩調を合わせながら取り組んでいきたい。

問 選挙公報のホームページ掲載について

答 今回の市議選から掲載を行っているが、周知できていなかったため、今後市報等で周知する。

問 選挙公報の配布状況及び確認について

答 4月施行の市議会議員の選挙公報については、4月21日から25日に配布。配布事業者からの毎日配布状況の報告に加え、市内居住職員から市内のシステムを利用して地区、配布日の状況を確認している。



安全・安心で支え合う
まちづくりについて

大塚 みどり



問 平成26年10月から平成27年3月までの「成人用肺炎球菌ワクチン」の接種率は

答 接種率は13.2%である。

問 同時期に個別通知をしている行

橋市が、44.1%、中間市は39.9%、本市では、十分な周知がされているか疑問が残る。65歳以上の人が成人用肺炎球菌ワクチン接種の対象者であること、接種方法を明記して十分な個別通知を強く要望する

答 対象となる65歳の人への個別通知は、他の自治体における有効性等を参考にし、検討する。

問 土砂災害の場合、避難所一帯が警戒区域になっている地域もある。現在、どのように計画されているのか

答 避難所が被災する可能性がある場合は、近隣の避難所に避難することになる。

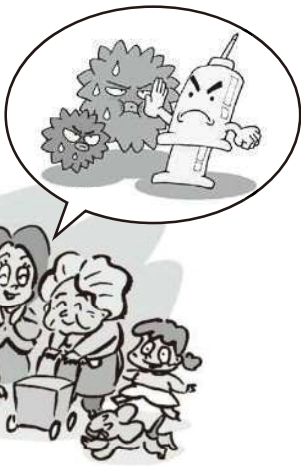
問 生活道路においては、側溝にふたがない道路がかなりある。高齢者や子どもたちが自主避難す

ることさえ危険である。避難道路の安全点検については、どのように進んでいるのか

答 生活道路の側溝整備については、地元と十分に協議を行いながら、改良等を進めていく。

問 「大野城市防災会議」のメンバーに女性が少ないので、女性を増やす対策を予定されているのか

答 「大野城市防災会議」の委員に、現在4名の女性委員が就任している。防災に関する方針決定の場への女性の参画に配慮していきたいと考えている。



バス等運行事業の
見直し・推進について

森 和也



問 コミュニティバス運行事業の目的、始まった経緯は

答 目的は、連続した公共交通空白地を解消すること、経緯は、乙金地区を運行していた西鉄の路線バスが廃止となり、大きな公共交通空白地が生じることが考えられたことから導入された。

問 西鉄バス利用の高齢者への優遇処置（料金助成）は考えているか

答 高齢者の移動支援を行うことは、高齢者自身の社会参加や生活活動を活性化し、介護予防を促進する効果があると認識しており、バス料金助成はその手段の一つとして有効性があると考えているが、増加傾向の社会保障費の財源問題、市民に公平なサービスのあり方など、多くの課題がある。また、南コミ運営委員会と市が共働で運行する「ふれあい号」のように地域ボランティア活動が主体となる移動支援事業もあり、高齢者の福祉向上を目指す地域包括ケア体制の構築には、このような市民互助によ



る移動支援を拡大していく必要もあると考えている。高齢者施策における今後の課題として、バス乗料金の助成についても、先進地等の事例を含め調査・研究したい。

問 今後南地区にコミュニティバスを走らせる計画はないのか

答 南地区は路線バスが充実していることから連続した公共交通空白地はないものと判断しており、コミュニティバス運行予定はないが、公共交通環境等に変化がないか、今後も注視していく。

地方自治体が担う 社会保障について

松下 真一



問 地域包括ケアの課題とは

答 国が提唱する地域包括ケアとは、高齢者が住みなれた地域で自分らしく暮らす事ができるような医療、介護、予防、生活支援、住まいを一体的に提供するもので、平成37年をめどに市町村が体制を整えることになっているが、在宅医療やNPO・ボランティア団体による支援の充実や、高齢者自身も生きがいを持ってサービスの担い手として活躍できる仕組み・まちづくりをどのように進めるかが課題である。

問 医療と介護の連携について

答 地域医療と介護資源の把握や医療・介護関係者の情報共有支援、在宅医療・介護の相談支援などの項目の取り組みが示されている。本市では、筑紫医師会、筑紫保健福祉環境事務所等の関係機関との連携を進めていく中で、対応可能となった項目から順次実施したいと考えている。

問 新オレンジプラン（認知症施策推進総合戦略）への対策は



厚生労働省資料より

答 基本的な考えは、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることが可能な社会の実現であり、本市でも認知症施策の充実を掲げ、認知症の人の早期支援体制、徘徊高齢者早期発見などの取り組みで、重度化を防ぎ、家族の負担軽減の支援策を明確化している。

問 地域と雇用対策について

答 正規雇用や女性の就業は、まちの活性化とともに、社会保障全般を支える基礎として重要と考える。

学校給食の 食物アレルギー対応について

河村 康之



問 本年度の食物アレルギー対象児童・生徒数は

答 小・中学校で約9100名の生徒があり、その中で233名が何らかの食物アレルギーの対象となっている。

問 平成26年3月文部科学省から通知された「今後の学校給食における食物アレルギーの対応について」現在どのように対応しているか

答 ①学校関係者や医療関係者と定期的に情報共有や対応方針についての協議会を行っている。②校内研修会で専門医を講師として派遣し、アレルギーシヨックの応急処置のための注射液であるエピペン使用の研修を行った。③福岡県教育委員会によるアレルギー対応の研修会に、各学校への参加を呼びかけている。

問 食物アレルギー対応は、子供たちの生命に関わる。安全で安心な給食の管理はどのようにしているか

答 アレルギー食品の混入を防ぐため、給食をつくるスペースを一

般給食の調理工程と交わらないところで加工し、県費負担の栄養教諭が配置されない学校に、市として栄養士を雇用し配置しアレルギーへのきめ細かな対応を行っている。また、安全を確保するため、献立は児童の担当医の意見と保護者との面談を踏まえ、各学校の栄養教諭がアレルギーに対応した献立を作成している。調理されたアレルギー対応の給食は、一般の給食と識別できるよう、一般の給食器と異なる色の器に盛り、配膳された給食は、学校長、担任教諭が配膳を確認し安全に徹底し提供している。



地域の有効活用なるか？ 空き家！

清水 純子



問 「空き家等対策審議会設置条例」が制定されたが、審議会の委員はどのような基準で選出されるのか。

答 現在、検討中で地域住民、市議会議員、法務・不動産・建築・福祉・文化等に関する学識経験者等で構成する予定。

問 大野城市内の空き家等の現状について

答 昨年の7月から10月にかけて、空き家及び老朽危険家屋等の調査を実施。結果、560棟の空き家を確認。その内10棟は放置することが不適切な状態であるが、全体的には管理状態がよく、使用可能な空き家が多かった。

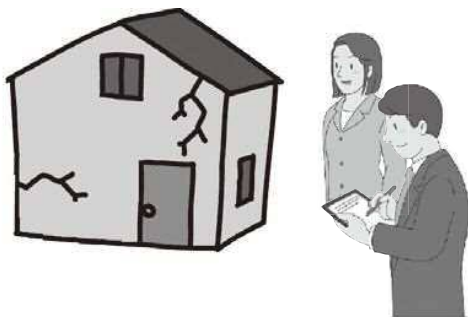
問 空き家等を地域の活性化、有効的活用を図るために、どのような事業を推進するのか

答 空き家等対策計画の策定を予定。安全安心課を中心に、空き家等対策検討委員会を組織して検討中。また、今後設置予定の空き家等対策審議会の中で、空き家の予防から利用・活用に関して

調査・研究し、計画に反映。現段階では、空き家の情報を不動産業者等と連携し、空き家を利用したい人へ情報提供する「空き家バンク」等が考えられる。本市の実情に合った利活用の方法を調査・研究し、計画に反映させる。

問 不動産を担保に分割融資が受けられる、逆担保融資制度や住みかえ等も推進できないか

答 収入が十分でない高齢者の在宅生活を支援する手段の一つとして、今後、先進地の調査を含め研究していく。



道路側溝蓋かけについて

平井 信太郎



問 本市における道路側溝蓋の未設置の状況は

答 南ヶ丘1区、南ヶ丘2区、若草区、乙金東区が蓋かけ要望の多い所で、側溝延長で36kmが未設置である。

問 今までの対応状況は

答 幅員4メートル程度の道路においては特に危険があるとは言えない。しかし場所によっては困難な状況が考えられるため、現地の調査を十分に実施したい。

問 なぜ40年も側溝蓋未設置の危険箇所が放置されていたのか

答 要望の多い4地区では、その地域で暮らす住民の高齢化が進む中で、危険との認識が出てきていると思われる。いかに早く安全な道路としていくかが課題であると考えている。

問 今までの進捗状況は

答 蓋かけの要望が強まる中で、全ての要望に切れ切れていない状況である。蓋未設置側溝の整備計画を策定中である。

問 側溝蓋かけの順番、優先順位と今後の対応・計画について

答 コストの縮減及び工事期間の短縮に向けて進めていきたい。蓋かけの順番については、整備計画の策定を行う中で、通学路指定の有無、側溝の整備状況、舗装の状況等を総合的に勘案し、それぞれの地元とも十分に協議しながら検討する。当面、早目に蓋かけ事業を進める。



側溝にふたがない道路

中学校の給食について、 就学援助の実施を

松崎 百合子



問 選択制のランチサービスが実施され10年たつ。働く女性の増加や子どもの貧困など、背景が変化し、改めて完全給食が求められている。学校給食をめぐる背景の変化について

答 共働き世帯の増加など、生徒や家庭を取り巻く環境の変化があることは十分認識。環境変化の中で、さまざまなニーズに対応できるように改善を進めている。弁当持参、ランチ給食サービス
の注文、パン購入の選択制としている。

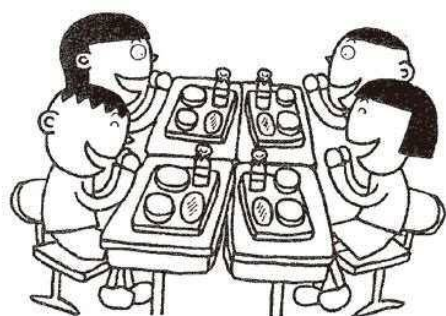
答 食を柱にお弁当やパンも選べる方式をとるのはいかがか
本市のミルク給食とランチ給食サービスの組み合わせは、主食、ミルク、おかずの完全給食と同様となる。また献立も教育委員会の栄養士と業者の栄養士が協議し、給食と同様の栄養管理を行っている。今後は、給食としての機能をより明確にしていく方針のもとで、就学援助の適用について、またランチ給食サービスの料金の見直しについて、

研究・検討の課題としたい。

問 完全給食、補食給食、ミルク給食があるが、実施率について

答 全国では完全給食が86%、補食給食が0.5%、ミルク給食が6%、他が7.5%。福岡県では完全給食が85.8%、ミルク給食が14.5%、補食給食はなし。本市はミルク給食に該当。

問 本年度から「中学校ランチ給食サービス」と名称を変えられたが、就学援助の適用や利用率の上昇も見込めるように、完全給



議会報告会 開催予定

〈開催日・場所〉

- ✿ 11月10日(火) 南コミュニティセンター
- ✿ 11月11日(水) 中央コミュニティセンター
- ✿ 11月16日(月) 東コミュニティセンター
- ✿ 11月24日(火) 北コミュニティセンター

※時間、内容等詳細については、10月の広報大野城でお知らせします。

全国市議会議長会表彰 受賞報告

6月17日に開催された第91回全国市議会議長会定期総会において、
永年勤続表彰を受けました。

●議長として4年



関岡 俊実

●議員として20年

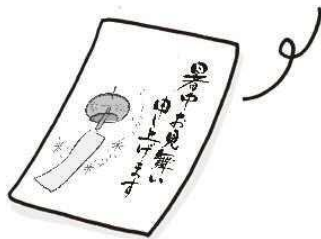


永野 義人

贈ってもダメ! 求めてもダメ!



●お中元やお歳暮



●暑中お見舞いや年賀状
などのあいさつ状
(自筆の答礼は除く)



●寄付



●地域の催物などへの
寸志や飲食物の差入

公職選挙法では、議員や後援会が選挙区内の
人にお金やものを贈ることは禁止されています。
また、有権者が求めることも禁止されています。
みなさまの、ご理解・ご協力をお願い致します。

暑中お見舞い申し上げます

議会のここが知りたい

〔質問〕 議会・議員の役目がよくわかりませんか？教えてください。

〔回答〕 議会・議員は、次のようなことを行います。

- ・市の予算内容と金額が適正なのかを審査。
- ・市の決まりごと（条例）の制定や改正についての審議。
- ・予算が正しく使われたかどうか（決算）を審査。
- ・本会議で市民の方の要望の取扱いや市政運営に対する一般質問。

〔質問〕 審査や議論はどの様なところでされるのですか。

〔回答〕 議員が専門分野ごとに分かれて組織した常任委員会（総務企画委員会・福祉文教委員会・都市環境委員会・予算委員会）で市の担当課より説明を受け質問、議員間討議の後、賛成するかどうかを委員会で決めます（多数決）。最終的には本会議（全議員出席）で採決されます。

〔質問〕 政務活動費は何に使われるのですか。大野城市の額はいくらですか。

〔回答〕 議員が市政に関する調査研究を行うための費用として月額3万円が支払われます。使用した活動費は領収書を添え報告書を提出します。



質問者：田中 まり子さん

〔質問〕 市に対して意見や要望がある時はどの様にしたらいいですか。

〔回答〕 請願や陳情という方法があります。請願を出す時は、紹介議員（1人以上）が必要です。出された請願は各常任委員会では対応について審議されます。陳情は文書内容が各議員に配布されます。

平成	年	月	日
大野城市議会議長			
○○ ○○ 様			
紹介議員			印
(陳情書の場合は、不要)			
_____に関する請願書(陳情書)			
請願者(陳情者)			
住所			
氏名			
印			
(法人の場合は、その名称及び代表者名)			

平成27年第4回9月定例会(予定)

- 9月 1日(火)10:00～本会議 提案理由説明
- 4日(金)10:00～本会議 質疑・付託
- 7日(月)10:00～各常任委員会 10日迄
- 11日(金) 9:00～決算特別委員会 15日迄
- 16日(水) 9:30～本会議 一般質問
- 17日(木) 9:30～本会議 一般質問
- 25日(金)10:00～本会議 報告・討論・採決

本会議・各委員会は傍聴できます。
みなさまの傍聴をお待ちしています。

あんな

連日、ペットに関する悲しいニュースが報告されています。動物界には二つの不変原則があると知られてきました。

「自殺をしない」「同種は同種を殺さない」の二つです。近年、集団自殺をする鹿や、同種で殺しあう猿などの報告がありますが、常習的にこの二つの原則を破っているのは、やはり人類ということになるでしょう。

食物連鎖の頂点に立ち、自身を捕食する種がない万物の霊長・人間。ともすると、「自殺」や「戦争」は、増え過ぎた自身たちの数を調整するための「本能的な自浄行為」であるのかもしれない、とさえ思ってしまう。

とはいえ、言葉の通じない、種の違う他の動物たちを慈しみ、愛を持って解りあおうとすることが出来るのも我々人間ではないでしょうか。

(D・I)